

平成30年6月資金需給予想

	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	主要項目	日銀調節
1(金)	▲ 400	▲ 33,000	▲ 33,400	機関貸付回収 税・保険料揚げ前倒し 2Y発行▲21000	社債買入▲100 国債補完1100・▲300
2(土)			0		
3(日)			0		
4(月)	900	▲ 55,000	▲ 54,100	普通交付税 税・保険料揚げ TB3M発行▲44000償還43100 交付税借入▲10500期日10500	国債買入5100 全店共通(固)2400・▲2000 CP買入▲100 社債買入▲200 ETF買入100 国債補完300・▲200 成長基盤5200・▲3700
5(火)	600	600	1,200		国債買入8500 短国買入5000 CP買入▲300 社債買入▲100 ETF買入300 国債補完200・▲400
6(水)	600	▲ 18,700	▲ 18,100	10Y発行▲22000	CP買入▲300 社債買入▲200 国債補完400
7(木)	0	2,000	2,000		
8(金)	0	▲ 6,000	▲ 6,000	流動性供給▲5000 預保借入期日900	CP買入2500
9(土)			0		
10(日)			0		
11(月)	1,000	▲ 14,000	▲ 13,000	TB3M発行▲44000償還43700 TB6M発行▲23000償還12100 10Y物価連動償還2500	全店共通(固)▲1600
12(火)	1,000	3,000	4,000		
13(水)	0	▲ 5,000	▲ 5,000	源泉所得税揚げ 社会保障費 流動性供給▲6000	
14(木)	▲ 1,000	2,000	1,000	交付税借入▲10500期日10500	被災地支援▲900
15(金)	▲ 1,000	84,000	83,000	年金定時払い 2Y償還9800 個人向け3Y・5Y・10Y発行▲3000 (見込) 個人向け3Y償還200	CP買入2500
16(土)			0		
17(日)			0		
18(月)	0	▲ 1,000	▲ 1,000	TB3M発行▲44000償還43600	全店共通(固)▲2400
19(火)	0	1,000	1,000		
20(水)	▲ 1,000	60,000	59,000	利払い TB1Y発行▲21000償還6800 5Y償還24800 10Y償還48700 30Y発行▲7000 エネルギー-対策借入▲7000 (見込) 期日7000	貸出増加支援▲49400
21(木)	▲ 1,000	▲ 6,000	▲ 7,000	機関貸付回収 交付税借入▲10500期日10500	
22(金)	▲ 2,000	▲ 21,000	▲ 23,000	5Y発行▲20000	
23(土)			0		
24(日)			0		
25(月)	0	▲ 2,000	▲ 2,000	TB3M発行▲44000償還42500	社債買入1800
26(火)	▲ 1,000	1,000	0		
27(水)	▲ 1,000	▲ 11,000	▲ 12,000	20Y発行▲10000	
28(木)	▲ 1,000	2,000	1,000		
29(金)	▲ 2,100	3,400	1,300	地方税など	CP買入2500
30(土)			0		

計	▲ 7,400	▲ 13,700	▲ 21,100
---	---------	----------	----------

今月は、1・21日に機関貸付回収、4日に税・保険料揚げ、普通交付税払い、13日に源泉所得税揚げ、社会保障の払い、15日に年金定時払い、20日に国債の大量償還・利払い、29日に地方法人特別税がある。決済短縮化後の国債大量償還月となり、国債の発行がT+1となっている。
主な不足日 1日、4日、6日、11日、22日、27日 主に財政等要因
主な余剰日 15日、20日 主に財政等要因

◆日銀当座預金増減要因（2018年6月見込み）出所：日本銀行

	見込み	前年実績	前年同月比	銀行券当月末残高 前年同月比見込み
銀行券要因	▲ 7,400	▲ 8,483	1,083	4.0%
財政等要因	▲ 13,700	▲ 2,063	▲ 11,637	
国債等	▲ 12,600	9,523	▲ 22,123	
国庫短期証券等	▲ 28,100	▲ 40,277	12,177	
上記を除くその他	27,000	28,691	▲ 1,691	
資金過不足	▲ 21,100	▲ 10,546	▲ 10,554	

日本銀行が金融機関等から買入れた国債・国庫短期証券が償還を迎えた場合には、上表の国債等・国庫短期証券等の償還には含まれない扱いとなっている。
日本銀行が国債買入オペ等を通じて前月末までに取得した国債の当月における償還額は112,100億円程度。
日本銀行が国庫短期証券売買オペを通じて前月末までに取得した国庫短期証券の当月における償還額は29,400億円程度。

◆財政資金対民間収支（2018年6月中見込み）出所：財務省

区分	見込み	前年実績	前年同月比	備考
一般会計	13,220	8,692	4,529	
租税	78,320	74,079	4,241	法人税・消費税等の受入
税外収入	1,680	1,644	36	
社会保障費	▲ 12,110	▲ 11,934	▲ 176	後期高齢者医療給付費等負担金の支払等
地方交付税交付金	▲ 38,310	▲ 38,978	668	普通交付税の交付等
防衛関係費	▲ 3,140	▲ 2,895	▲ 245	
公共事業費	▲ 2,020	▲ 2,010	▲ 10	
義務教育費	▲ 2,850	▲ 2,836	▲ 14	
その他支払	▲ 8,350	▲ 8,379	29	
特別会計	▲ 51,240	▲ 46,993	▲ 4,247	
財政投融资	5,180	5,167	13	
外国為替資金	-	206	▲ 206	
保険	▲ 44,390	▲ 41,554	▲ 2,836	年金の定時払等
その他	▲ 12,030	▲ 10,813	▲ 1,217	公債の利子支払等
一般会計・特別会計等小計	▲ 38,020	▲ 38,302	282	
国債等	12,580	▲ 9,523	22,103	
国庫短期証券等	28,090	40,277	▲ 12,187	公募発行見込額約26.4兆円
国債等・国庫短期証券等小計	40,670	30,754	9,916	
調整項目	▲ 3,090	▲ 2,730	▲ 360	
総計	▲ 440	▲ 10,278	9,838	

◆2018年6月の主な不足日・余剰日の見込み

主な不足予定日は、1日（機関貸付回収・期日前税揚げ等）、4日（税・保険料揚げ）、6日（10Y発行）、11日（TB6M発行超過）、22日（5Y発行）、27日（20Y発行）。一方、主な余剰予定日は15日（年金定時払い）、20日（国債大量償還・利払い）。決済縮小化後の国債大量償還月であり、国債の発行がT+1化となっているため、例年より不足日が多くなっている。

◆2018年6月の短期金融市場予想

●コール市場

月初の日銀当座預金残高は税・保険料揚げ等の要因により、376兆円程度まで減少している。月末の日銀当座預金残高は、15日の年金定時払いや20日の国債大量償還・利払い、それに加えて貸出増加支援オペ等の要因もあり、390兆円台となることが見込まれる。

5月の積み期間後半にあたる月前半は、税・保険料揚げ等の要因があり、無担保コールO/N加重平均レートが積み最終日に向けて若干上昇すると考えられるが、15日に年金定時払いを控えている事もあり、上昇幅は限定的と見られる。16日以降の新しい積み期間では、レートが多少低下した後に、若干上昇に転じる展開を予想する。また、月末には取り手が減少するため、レートが低下する事が予想される。6月11日に発表される基準比率や、14～15日の金融政策決定会合の結果、18日に発表される貸出増加支援オペの結果等にも注目したい。

●CP市場

5月末の発行残高は17兆2,527億円と、15ヶ月連続の前年同月比増加となった（2017年5月末15兆4,240億円）。卸売、鉄鋼、電力・ガス業態は前年比で2,000億円以上残高が増加しており、それ以外の業態も全般的に市場残高が増加した。賞与や納税などの資金需要から、6月末にかけて発行残高が積み上がっていくと見られるものの、ディーラー等の購入意欲は引き続き強く、発行レートは概ね0%近辺となることと予想される。

●短国市場

日銀の短国買入オペ残高は減少しているものの、3M～1Y物まで全て▲0.15～▲0.13%程度での推移となっている。今月の短国買入オペは月間の償還額に見合う3兆円の実施が想定される中、6月4日は5,000億円でオファーされた。11日、18日、25日に残りのオペがオファーされると見込まれる。短国レートは横ばいから若干上昇での推移が続くと見込まれるが、月末の担保需要によっては、レートが低下する可能性もある。レポレートの動向にも注意を払いたい。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡りする書面や目録見書をよくお読みください。